

へき地におけるオンライン診療の場合の調剤制限の緩和

大分県津久見市

【令和3年地方分権改革に関する提案募集】

【求める措置の内容】

へき地におけるオンライン診療において、一定の要件を満たした場合、診療所の薬を患者に提供できるように規制の緩和を行う。

津久見市教育委員会

生涯学習課 課長 川野 明寿

(前 健康推進課長)



大分県津久見市保戸島

大分県「津久見市」の紹介

大分県津久見市

- 本市は、大分県の南東部に位置し、豊後水道に面した海沿いの都市。東西に28km、南北に12km、面積79.48km²
- 美しいリアスの海岸線が山地斜面のミカン栽培の段々畑とコントラストをなしており、風光明媚な景観を構成。
- 世帯数：7,562世帯・人口14,980人（R6.12月末現在）



みかん



セメント



野球



津久見市

大分県

提案に至った背景①

大分県津久見市

保戸島

○保戸島は、津久見港から約14kmの豊後水道に浮かぶ島で、周囲4km、面積0.86km²

○世帯数：321世帯・人口533人（男264人・女269人）（R6.12月末現在）

○高齢化率 78.3%（R6.11月末現在）



提案に至った背景②

大分県津久見市

津久見市保戸島診療所

- 所在地：大分県津久見市大字保戸島880番地の1
- 交通手段：津久見港～保戸島港（旅客船）約25分
- 開設者：津久見市
- 指定管理者：一般社団法人 津久見市医師会

○沿革（抜粋）

平成18年4月1日 保戸島診療所開設

平成22年7月1日より津久見市の指定管理者として、津久見市医師会が保戸島診療所の運営を行っている。

令和2年10月1日 オンライン診療運用開始（県内初）



提案に至った背景③

大分県津久見市

津久見市保戸島診療所

○診療日：平日 月・火・水・金

○診療時間 9：45～12：00・13：00～15：30

○保戸島診療所スタッフ 計6人

医師・看護師・事務…市内居住（旅客船通勤）

看護師・助手・事務…保戸島居住

○1日平均診療人数… 30.4人／日（R5年度実績）

○年間荒天等で船が欠航する日数… 5日～10日程度／年



オンライン診療

津久見市保戸島診療所

○保戸島診療所を取巻く状況

- ・保戸島地区に調剤薬局はない。調剤薬局は処方枚数が少なく採算が取れないため希望する事業所がない。
- ・診療日以外の急な病気、けが等で連絡があっても対処できなかった。患者は我慢するしかなかった。
- ・オンライン診療は、医師不在の解消や、離島航路運休リスク回避のため、令和2年10月より運用を開始した。

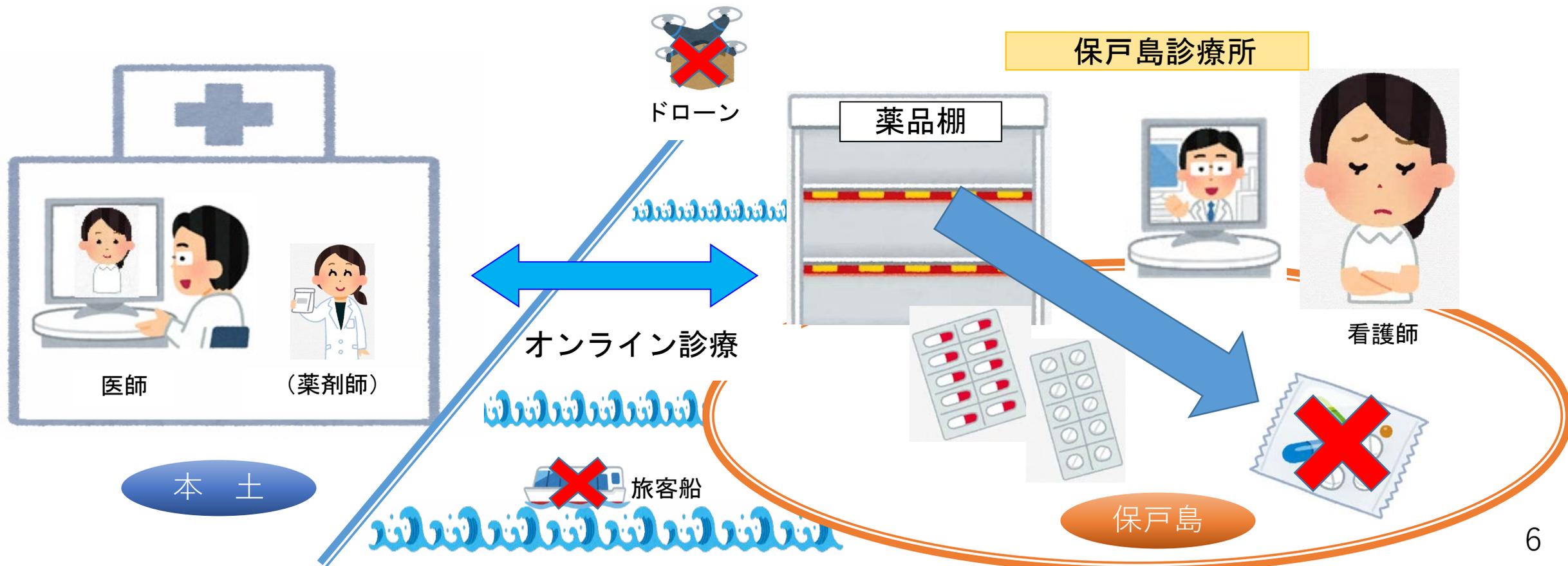
○保戸島診療所の看護師による薬剤に関する業務の状況

- ・医師がカルテ記載の処方に基づき、看護師が必要量を取り揃え、医師が確認している。
- ・薬剤管理、在庫管理、発注業務を看護師が担っている。
- ・看護師として40年以上の経験があり、調剤業務を伴う診療所で長年従事してきた。

提案に至った背景⑤

大分県津久見市

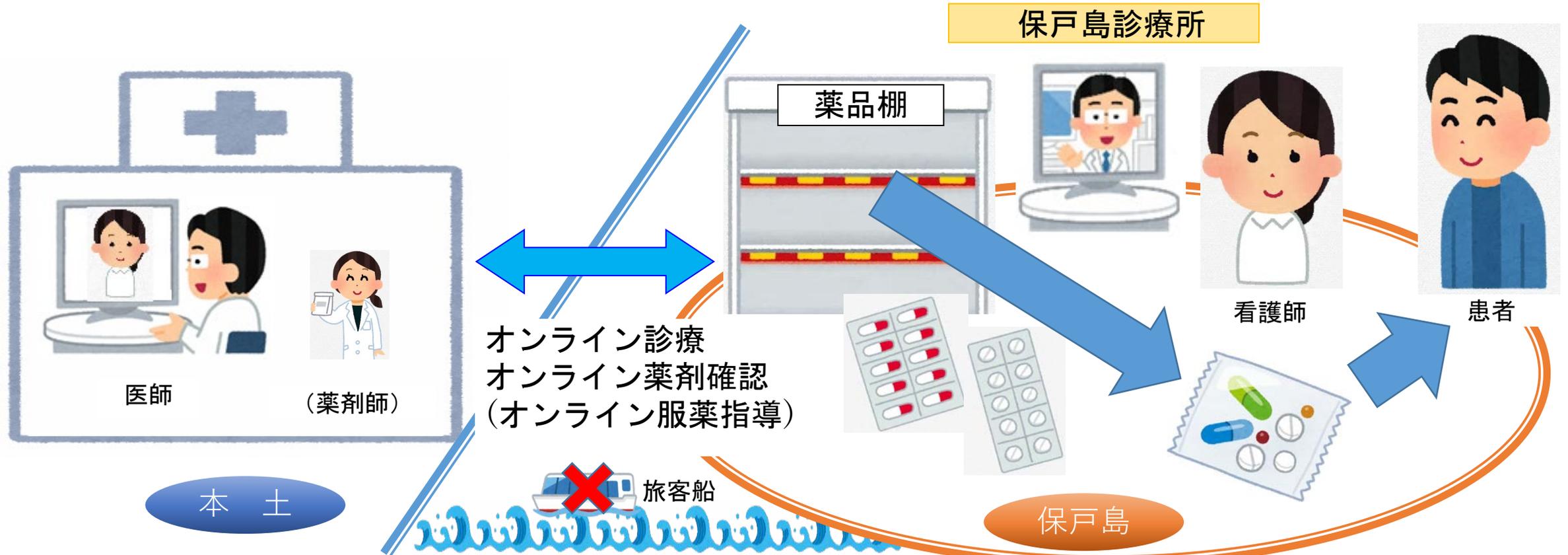
保戸島診療所医師が本土の津久見市内の病院からオンライン診療を実施する場合、当該診療所内に医師が不在となり、薬剤師法第十九条（調剤）及び第二十二條（調剤の場所）による制限のため診療所内に在庫している薬剤を患者に提供できない事案が発生している。



提 案 内 容

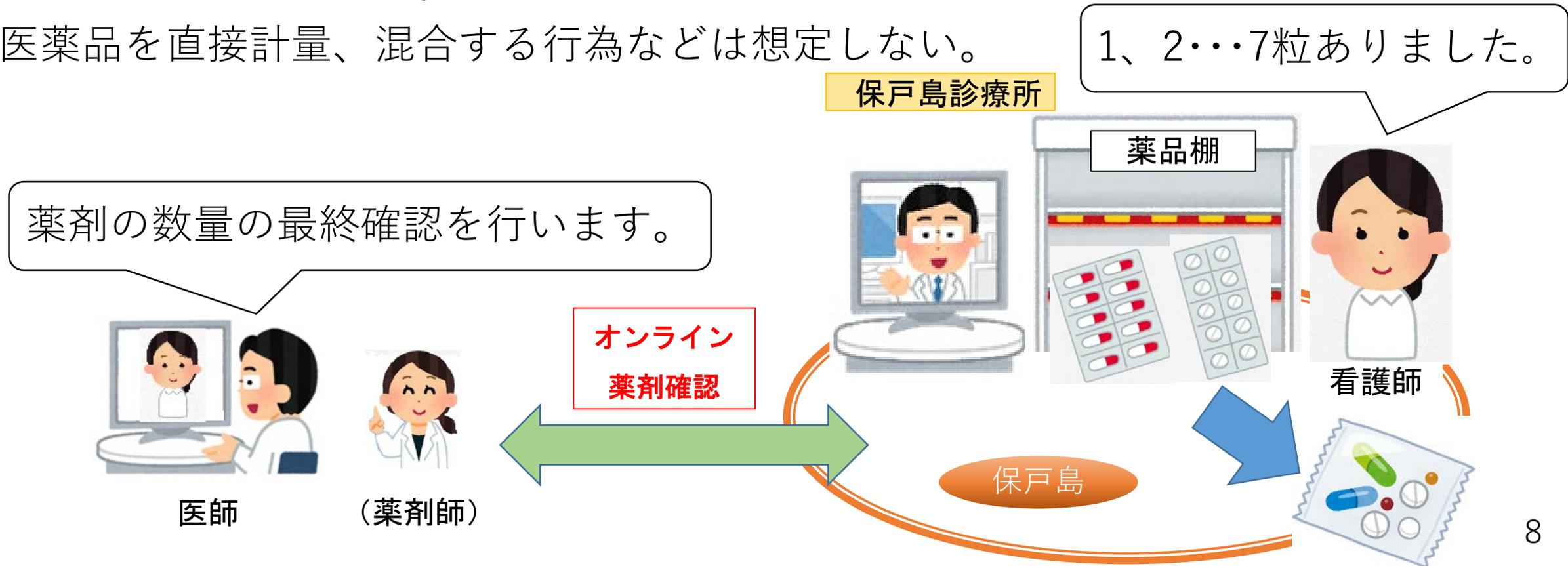
大分県津久見市

オンライン診療で診療所内に医師が不在の場合でも、診療所内に在庫している薬剤の提供が可能になれば、薬剤を配送する時間と配送経費の削減が可能になり、離島等のへき地住民の利便性向上、負担軽減及び医療の確保を図ることができる。



医師又は薬剤師以外の者が患者に提供できる薬剤の想定

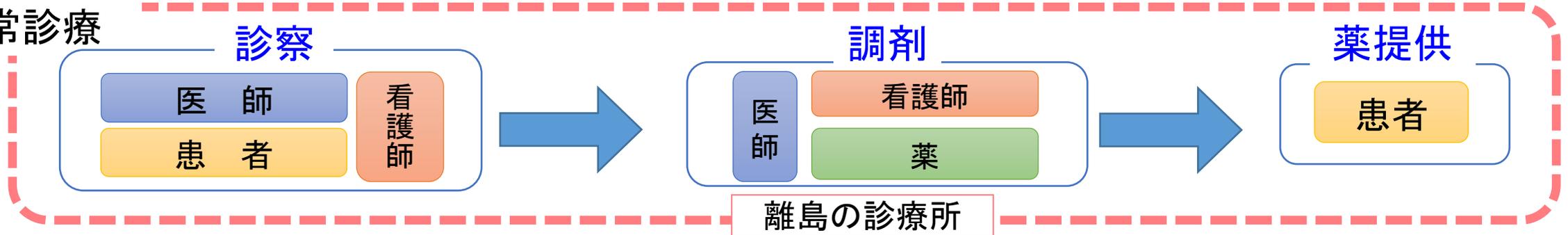
- PTPシート又はこれに準ずるものにより包装されたままの医薬品の必要量を取りそろえる行為のみ。
- 医薬品を直接計量、混合する行為などは想定しない。



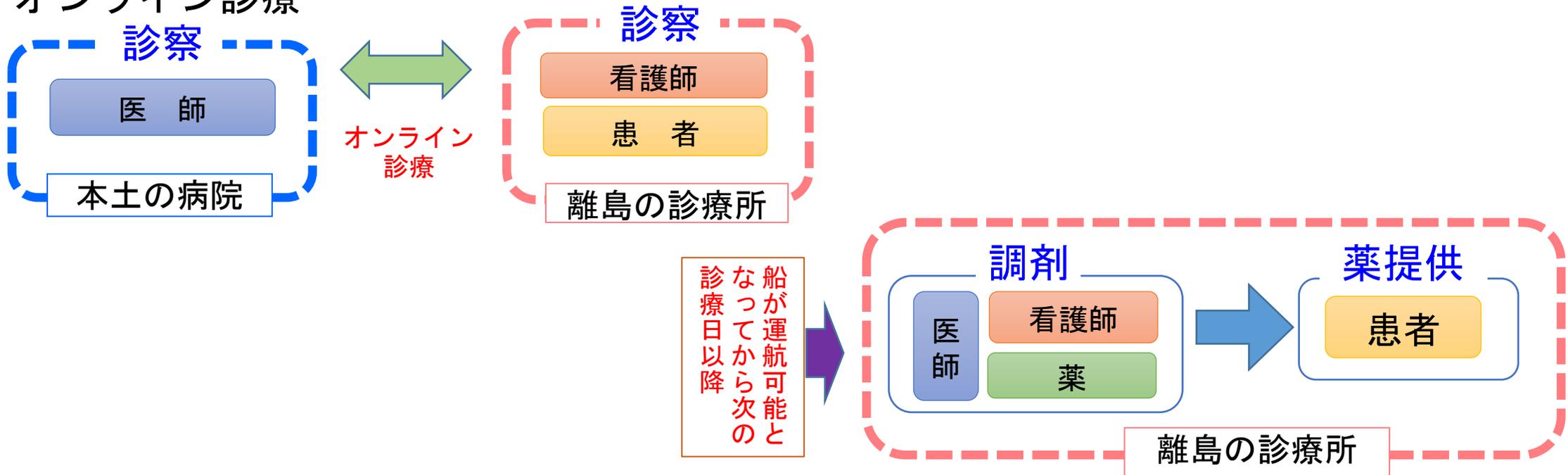
提 案 内 容 【現 状】

大分県津久見市

通常診療



オンライン診療

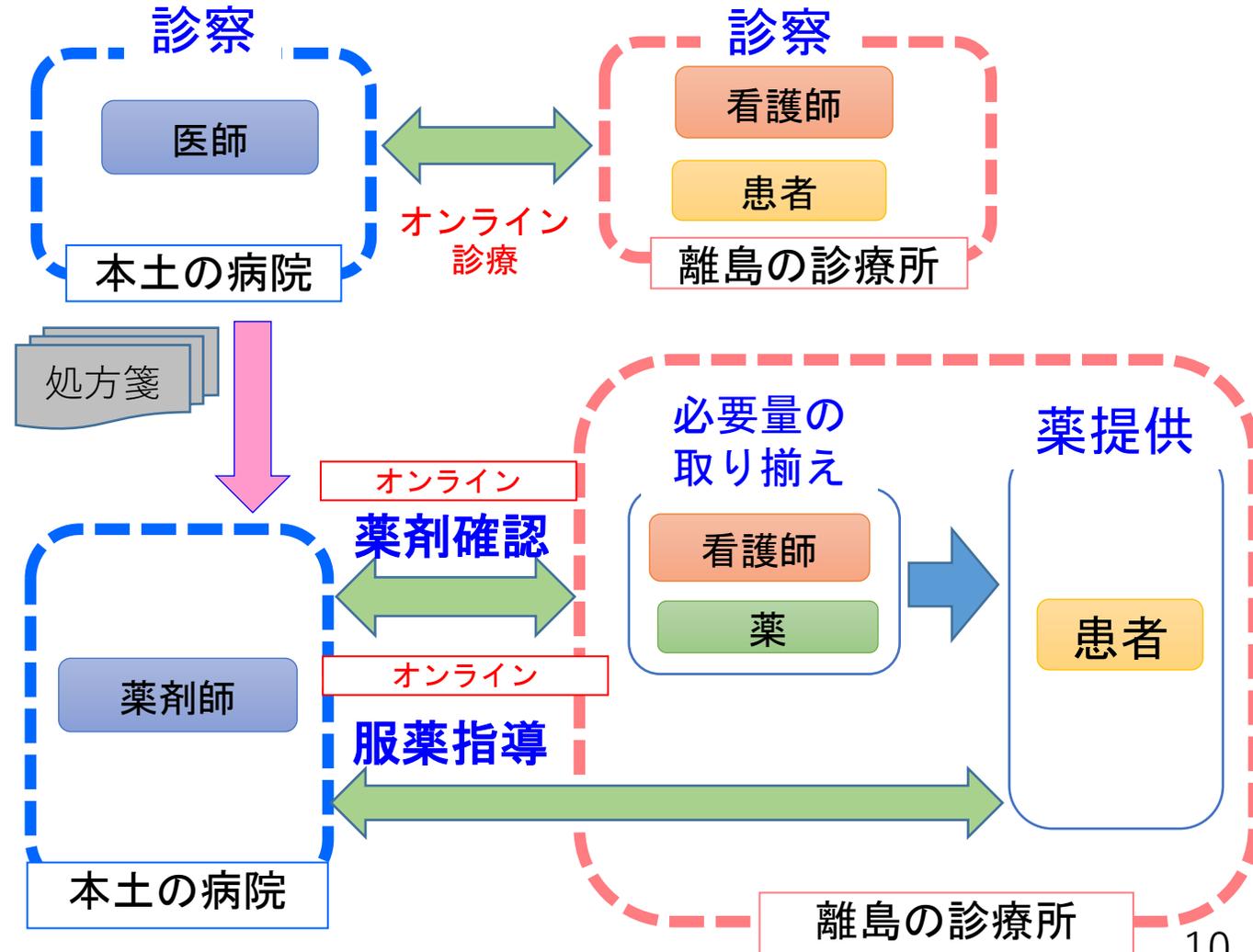
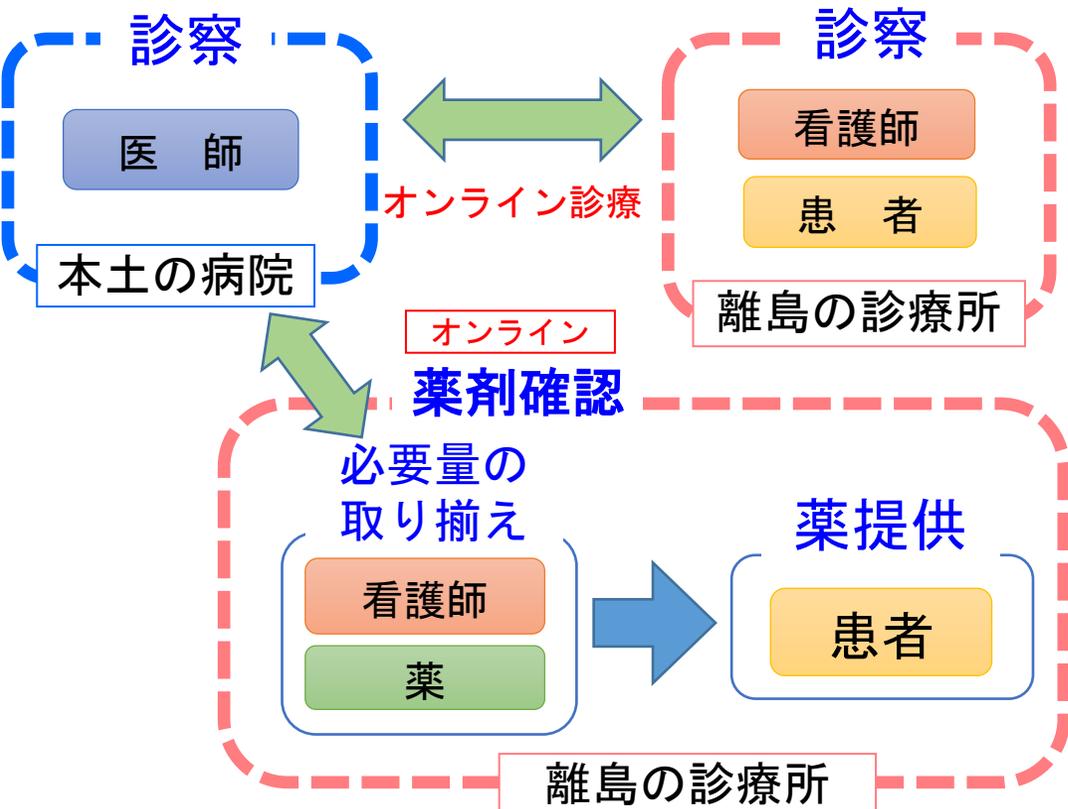


提 案 内 容 【改善案】

大分県津久見市

オンライン診療【提案①医師の対応のみ】

オンライン診療【提案②病院内外の薬剤師】



提案実現による効果

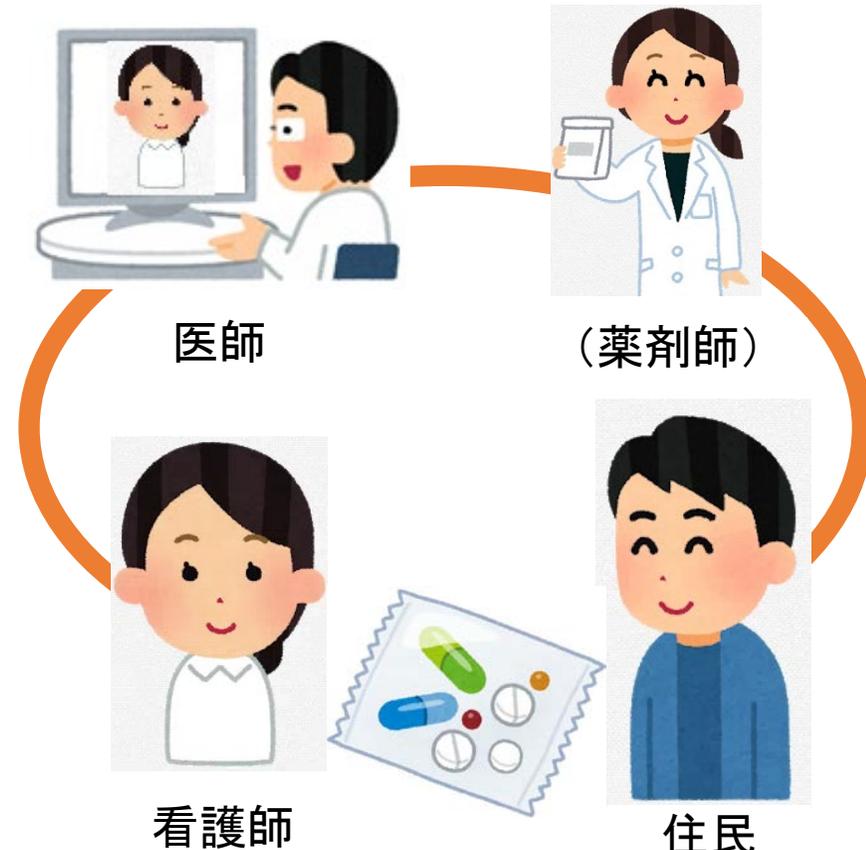
大分県津久見市

オンライン診療で診療所内に医師が不在の場合でも、診療所内に在庫している薬剤の提供が可能

へき地における医療機能の維持

- ◆ 離島等へき地住民の利便性向上
- ◆ 薬剤を配送する時間の削減
- ◆ 配送経費の削減
- ◆ 服薬指導との併用への発展

医療の確保が図られ
安心して住みなれた地域で
生活が送れる



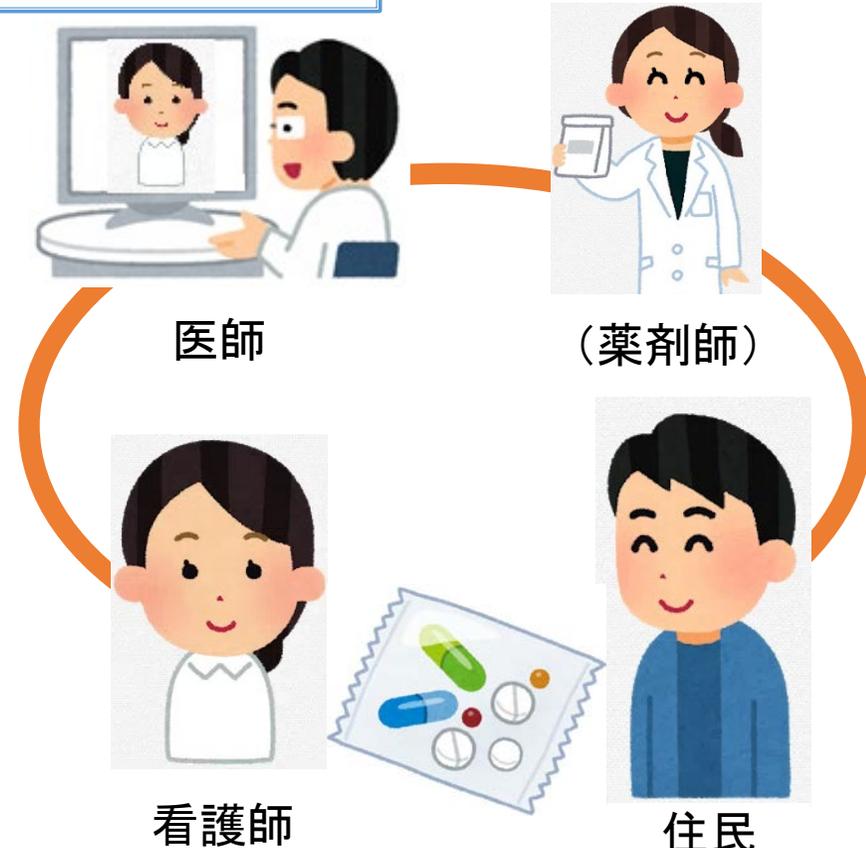
令和4年 離島の調剤制限を緩和【概要】

大分県津久見市

厚生労働省が令和4年3月23日付で各都道府県に通知を発出
「離島等の診療所における医師及び薬剤師不在時の医薬品提供の考え方について」

薬剤師または医師が調剤した医薬品を供給できる体制整備が前提

離島等の診療所において、荒天等により医師及び薬剤師がやむを得ず不在となる場合
において、医師が遠隔でオンライン診療を行った場合、医師または薬剤師の管理の下、離島診療所にいる看護師または准看護師が、患者に薬剤をわたすことは「差支えない」



市担当：『画像による診察ができて、画像による薬の取り揃えがなぜできないのか？』

国・大分県：『薬剤師法に基づき調剤は不可能。法律に基づく判断で不可能。』

地方分権改革 提案募集『地方の声で国の制度を変える』

⇒市担当の想い・使命感 『**不可能の声を可能にしたい**』

市経営政策課 柴田参事、市医師会 朝生事務局長、県薬剤師会の協力と支援

規制緩和

令和4年3月通知「離島等の診療所における医師及び薬剤師不在時の医薬品提供の考え方について」

成果：離島等へき地住民の医療の確保・利便性向上

住み慣れた地域で、心身ともに健康で暮らすことができる安心・安全のまちづくり

ご清聴ありがとうございました。

令和4年度地方分権改革推進アワード受賞



保戸島診療所スタッフ (R4.3月撮影)



津久見市医師会 朝生事務局長